

表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作 品 名	足尾銅山記念館	
所 在 地	日光市足尾町 2281-1	
用 途	博物館	
建 物 概 要	構造： 木造 一部組積造	敷 地 面 積：4,440.99 m ²
	階数： 地上 2 階、地下 0 階	延 べ 面 積：1,329.65 m ²
建 築 主	栃木県日光市足尾町 2281-1 一般社団法人古河市兵衛記念センター	
建 築 主	東京都千代田区大手町 2-6-4 古河機械金属株式会社	
設 計 者	東京都港区虎ノ門 1-23-1 株式会社日本設計	
設 計 者	東京都千代田区大手町 2-6-4 古河林業株式会社	
施 工 者	東京都千代田区大手町 2-6-4 古河林業株式会社	
講 評		
明治 44 年に建設された足尾鉱業所を創建当時の場所（現日光市足尾町）に再建するプロジェクトであり、再建された建物は足尾銅山に関係した歴史資料を展示する記念館として運営されている。隣接する旧足尾銅山鉱業事務所附属書庫をはじめ歴史的建造物が多く残る地区で当時の外観が忠実に再現されていることから、将来も周囲の建造物のみならず山間の自然景観とあわせ地域の資産として運用していくことによりさらに価値を高めていくことも期待できる。再建にあたり、残された資料を丹念に読み解き、資料を有する箇所は忠実に当時の姿を再現し、資料の無い箇所は推測による再現を排して復元部分と明確な区分を行っている。加えて展示館としての必要な機能は機械設備を用いながらも復元部分と違和感なく調和させている。歴史的建造物の再建の意義やその方法論について議論の余地はあるものの、今回の再建は関係者が明確な理念を持って取り組んでおり、このことは文化遺産保存のありかたの方向性を示している好例と判断しマロニエ建築賞優良賞にふさわしいと評価された。		
 ©川澄・小林研二写真事務所		